

Ren

富山市PTA連絡協議会広報紙 第86号

知っておきたい もしものときの対処法
 命を守る 地震編
 PTAこんなことやります、やっています!!
 今年も市P連がんばっています!!
 単位PTAアンケート



平成23年7月25日(月)・26日(火)
中央小学校



めざせ! 立山頂上



平成23年7月23日(土)・24日(日)
水橋東部小学校



平成23年7月30日(土) 音川小学校

【発行日 2011.12.15】 発行/富山市PTA連絡協議会 編集/広報委員
 〒930-0002 富山市新富町一丁目2番3号 CiCビル3階「とやま市民交流館」内 TEL(076)411-7901 FAX(076)411-7902
<http://www.pta-toyama.jp/>

しものときの対処法

=地震編=

はじめに

富山県は地震が発生する確率が低いと言われていますが、災害はいつでも起こりえます。

いつ大地震などが発生しても被害を最小限に食い止められるよう、家族で話し合い、家の内外に危険箇所がないかチェックし、事前に防災対策をしておきましょう。

自宅以外にいた時

実際の子どもの行動範囲を想定して話し合いました。

路上



その場に立ち止まらず、空き地や近くの公園など安全性の高い場所へ避難しましょう。

電車・バス



つり革や手すりにしっかりつかまり、途中で止まっても勝手に出ず、係員の指示に従いましょう。

車



道路の左側に止めてエンジンを切りましょう。

海岸



海岸から直ちに離れ、高台など安全な場所へ逃げましょう。

スーパー・コンビニ



ガラスやウィンドウ、陳列棚からすばやく離れ、落下物から頭を守りましょう。

エレベーター



全ての階のボタンを押し、停止した階で注意して外へ出ましょう。

災害用伝言ダイヤルを利用しよう

地震等の災害発生時は、被災地に対する安否を気遣う電話や、お見舞いの電話等により、つながりにくくなる場合があります。そのような時には、災害用伝言ダイヤル(171)や災害用伝言板を利用することで、円滑・確実に安否の確認をすることができます。

災害時には自ら安否情報を発信するように心掛けましょう。

災害用伝言ダイヤル 171 の使い方

地震などの大規模災害が発生し、被災地への通話がつながりにくくなった場合、災害用伝言ダイヤルが提供されます。災害用伝言ダイヤルは、公衆電話や携帯電話・PHSからも使用可能です。一伝言あたり30秒、一電話番号あたり1~10件の伝言を残すことができます。録音保存期間は48時間です。48時間を超すと伝言は消去されます。

伝言を録音するには 自宅の電話番号を入力後、伝言を吹き込みます

171 ガイダンス → **1** ガイダンス → **市外局番からの電話番号**

伝言を聞くには 被災地の人の電話番号を入力後、伝言を聞きます

171 ガイダンス → **2** ガイダンス → **市外局番からの電話番号**



財団法人日本防災・危機管理促進協会
「大地震に備えて知っていますか?」
災害情報の入手法より

知っておきたい

命を守る

も

トイレや風呂場

隣近所の安否確認



落下物が少なく耐震性が高い空間です。ただ、ドアがひとつのため、避難路を確保することが重要です。



隣近所で安否確認や救助を行いましょう。

避難

逃げ道の確保

火の始末

自分と家族の安全確保



持ち物は、必要最小限にし、必ず靴を履いて徒歩で避難しましょう。高齢者、障害者などの方々には、声を掛け合ひましょう。



揺れがおさまったら、玄関などの扉を開けて逃げ道を確保しましょう。



コンロに火がついていても火を消しに行つてはいけません。都市ガス・LPGには、マイコンメーターが設置されています。揺れが起こると、ガスは自動的に遮断されます。



丈夫な机やテーブルの下に身を隠し、座布団などで頭部を保護しましょう。

自宅で緊急地震速報を受信したら

自宅にいた時

家族が離ればなれになったときの連絡方法や家族での集合場所、避難所を確認しておく。

⑥ 連絡方法や避難所の確認

必要な非常持ち出し品がそろっているか確認しておく。

⑤ 非常持ち出し品のチェック

家の内外をチェックして、危険箇所をさがして覚えておく。

④ 危険箇所をチェック

消火器や救急箱、非常用品の置き場所を確認しておく。

③ 防災用具などの確認

家具の配置換えをして、家の中に安全なスペースを確保しておく。

② 安全な空間を確保

日常の予防対策上の役割と災害発生時の役割を決めておく。

① 役割分担を決める



家族で防災会議

非常用 持出品

チェックリスト

- 飲料水
- 非常食
- 携帯ラジオ(予備の電池)
- 懐中電灯(予備の電池・電球)
- ヘルメット・防災ずきん
- ふえ
- 救急医薬品(キズ薬、ばんそうこう、解熱剤、かぜ薬、胃腸薬など)
- 常備薬
- 貴重品(預貯金通帳、印かんなど)
- 現金(小銭)
- 健康保険証・運転免許証のコピー
- ろうそく、ライター(マッチ)
- ナイフ、缶切り、スプーン、はし
- ウェットティッシュ
- タオル
- 上着・下着
- くつ(避難用)
- 軍手・手ぶくろ
- マスク
- 筆記用具
- 生理用品



すぐに持ち出すもの

(すぐに取り出せる場所に保管することが大切です)

非常用 備蓄品

チェックリスト

復旧までの数日間(3日分)必要なもの

- 飲料水(1人あたり1日3リットルが目安)
- 食品(缶詰、レトルト食品、ドライフーズなど家族3日分の食料)
- 燃料(卓上コンロ、予備のガスボンベなど)
- 毛布、タオルケット
- 歯ブラシ、石けん
- やかん、なべ
- 簡易食器(わりばし、紙皿、紙コップ)
- ラップ、アルミホイルなど
- ティッシュ・トイレトペーパー
- 使い捨てカイロ
- 簡易トイレ
- 予備のメガネ、補聴器
- 工具類(のこぎり、パール、スコップなど)
- 防寒着
- 雨具、ブルーシート、ひも
- ビニール袋
- 粉ミルク、紙オムツ、ほ乳瓶
- シャンプー(水のいらぬもの)
- 布ガムテープ
- ポリタンク



●水橋東部小学校

親子で吹きガラス体験

夏休み中の8月21日(日)に、6年生の親子活動で富山ガラス工房に行き、吹きガラス作品を作りました。

子どもたちにとっては初めての体験で、「何色にしようかな?」「どんな形にしようかな?」

と、どきどきわくわくの中、制作開始でした。

夏休みには、涼しい日でしたが、あつ〜い炉の前で、吹き竿の先についた熱いガラスに息を吹き込んでいました。

お母さんたちも子どもたちの様子に目を細めながら…そして、自分の制作の時は楽しみながら…参加しました。

子どもたちは、並べられた友達、先生、親の方々の出来上がった作品をみんな眺めながら、自分と友達の作品の違いを楽しみ、世界に一つしかないガラス作品に満足そうでした。

仕上がったガラス作品だけではなく、親子や友達と共に過ごした夏の素敵なひとときが、小学校生活のよい思い出になりました。



●音川小学校

一緒に食べようね親子会食



5月25日(水)、入学したばかりの1年生と、その保護者が一緒に給食を食べる「親子会食」を行いました。

富山市の栄養士の先生に来ていただき、給食の献立を例に挙げながら、バランスのよい食事の大切さについてのお話を聞きました。

子どもたちは、終始笑顔で、おいしそうに食べていました。保護者も、久しぶりの給食に、とても満足しているようでした。



力を合わせてピザ&パフェづくり



6月4日(土)、2・3年生の子どもたちと保護者で親子活動「ピザ&パフェづくり」を行いました。まず、保護者が作ったピザ生地、子どもたちが好みの具をのせました。次に、カップにお好みのフルーツやクリームをのせるパフェ作りをしました。

パフェが出来上がる頃には、ピザがこんがり焼き上がりました。食卓では会話もはずみ、親子の絆がいつそう深まったようでした。



●中央小学校

学校に泊まるう2011

中央小学校PTA親ゆびの会(父親の会)では、夏休み中の8月6日(土)、7日(日)の2日間、「学校に泊まるうキャンブ2011」を学校でもちよつとアウトドア気分」を開催しました。当日は児童、保護者、先生方合わせて37名の参加をいただきました。

校庭でのテント泊、プールで宝探し、手作りバームクーヘン、かき氷、カレーライス作り、カブトムシ争奪じゃんけん大会などを行いました。子どもたちが一生懸命テントを立てる様子、真剣な表情でバームクーヘンを焼く様子等々、よく覚えていきます。バームクーヘンはとっても美味しく焼きました。

でも子どもたちが一番楽しく嬉しかったのは、夜おそくまで、眠りにつくまで友達と一緒にいられたことかもしれせん。

不手際の多い設営でしたが、その分私たちスタッフにとつても忘れられない、楽しい夏休みの思い出となりました。また私個人もこのキャンブを通してたくさんの友達ができました。ご協力いただいた皆様に心より感謝いたします。ありがとうございました。



●八幡小学校

親子ふれあい活動

八幡小学校では、10月1日(土)に富山商業高等学校のチアリーディング(マーブルス)を招き、演技会を開催しました。

当日は、児童、保護者家族、地域住民の方合わせて204名の方が参加されました。

マーブルスは2011チアリーディング日本選手権 第6位に入賞され、その素晴らしいハイレベルな演技に感動し、マーブルスの和やかでハツラツとした演技に元気をもらいました。

大きくジャンプしたり高く組上げた演技には大きな歓声も上がりました。

また、演技の中にハチマンの文字を入れたり、実際に高く持上げて技を体感させてもらい会場一体となり楽しい演技会となりました。



●月岡小学校

自然を感じよう

10月15日(土)3年生の育友会親子活動に富山県ネイチャーゲーム協会の指導員の方をお招きして「ネイチャーゲーム」を行いました。ネイチャーゲームは、見る、聞く、触る、嗅ぐなどの様々な感覚を使い自然学習できる、体験型の環境教育プログラムです。

今回は、●違う種類の落ち葉を拾ってくるじゃんけん落ち葉集め ●特徴のヒントから動物を当てるゲーム ●学校敷地内でビンゴカードに書かれた「いい匂い」や「動物の落し物」「水の音」などを探すフィールドビンゴ ●どんぐりごま作りなどを行いました。校庭や畑など慣れ親しんでいる場所で耳を澄ましたり、真剣に観察したりし、普段の生活では感じ取ることのできない自然の音や匂いに気づくことができました。新鮮な体験でした。楽しみながら自然に触れ合うことができ、2時間の活動が短く感じられました。

遠くに出掛けなくても触れ合える自然が身近にあることを再認識し、この活動をきっかけに、親子で地域の自然の美しさや自然と触れ合うことの楽しさを感じていきたいと思えます。



●三成中学校

水橋・三成ブロックでの音楽鑑賞会

10月15日(土)水橋三成ブロックPTA連絡協議会主催で合同行事を開催しました。

会場は、三成中学校体育館にて、『富山商業高等学校吹奏楽部&応援部(チアリーディング)』の皆さんをお招きし、音楽鑑賞会・演技鑑賞会を行いました。

興味津々の子どもたちは、チアリーディングの迫力満点な演技を熱心に見入るなど、3名の生徒がチアリーディングに挑戦をさせてもらいました。吹奏楽部の演奏は、『はとぼっぼ』をアレンジした曲をはじめ、知っている曲ばかりで、みんな手拍子をして楽しみました。アンコールでは、チアリーディングと吹奏楽部のコラボでAKB48の曲を熱演してもらったので、子どもたちは身近に感じ、盛り上がりは最高となりました。



●大泉中学校

大泉中学校大成会 廃品回収

大泉中学校大成会では、年に3回(5・8・11月)廃品回収をします。校区の皆さんは廃品を、各集積場所に出してくれませう。各集積場所には、午前8時から担当の生徒達が待機し、地区委員の保護者の車に積み込みます。地区委員は、集まった廃品を学校に運びます。学校には、先生方、校区外から通学している生徒達、大成会執行部が待機していて、運び込まれた廃品を3台の業者のトラック(ダンボール、新聞、雑誌と古着)に仕分けしていきます。集積場所の回収が終わった生徒達も順次加わり、皆で大変にぎやかに、楽しく作業をしています。

毎年8月の回収の後には、ビーチボール大会を開催するのが恒例となっています。生徒、保護者、先生方でそれぞれのチームを組み、和やかななかにも真剣に白熱した試合を繰り広げ、絆を深める大切な行事です。



●奥田中学校

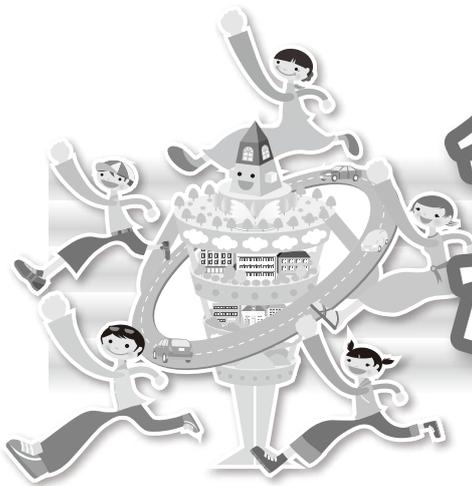
地域に学ぶ講座

本校の「地域に学ぶ講座」は、地域の方々と親しく交流する生徒、地域の歴史や文化を大切にする生徒、なりたいたい自分を見つけたりできることを増やしたりする生徒などの育成を目指しています。平成12年度から毎年実施しており、今年度は10月22日(土)に実施しました。校区に任んでいらつしやる方々、本校の同窓会員や関係者の方々に講師を務めていただき、講師の方々の特技や趣味、知識や経験を生かした体験活動を中心に多くの講座を設けています。

今年度は29講座で、プロのスポーツ指導者からトレーニング方法を学ぶなどのスポーツ・健康関係、パステル画などの美術関係、「ライトレールの今昔」などの現地を訪れる歴史・文化関係他、内容は多岐に渡ります。中には三味線講座のように、個人的に体験することが難しいものや「そば打ち」のように実食する講座もあります。

子どもたちは自分の興味関心のある講座にチャレンジし、とても生き生きとした表情で活動に取り組んでいました。今後も、特色ある本校の行事として継続していきたい、子どもたちの自分探しの一助になればと考えています。





今年も市P連 がんばっています!!

各委員会の活動報告

会長支援委員会

会長支援委員会は、平成23年8月21日(日)に平成23年度PTA会長情報交換会を富山県民会館で開催しました。

小学校49校、中学校24校合計73校という参加校で実施することができました。今年度は、テーマを明確にして講演を実施し、分科会の討議テーマも明確に分科会の共通テーマについて、討議を行ってみました。



第一部の講演会は「学校とPTAの関係はどうあるべきか。今一度考えてみよう」をテーマに講師に猪谷関所館館長 加藤 敏一様に講演を頂きました。加藤先生は中伏木小学校校長、保内小学校校長、上滝中学校校長を歴任。学校とは、生徒と教職員が共に学びあう場であり、学校と家庭と地域が「教育・響育・共育」し合うことが大事である、という

教育信条で教育現場に37年間教壇に立たれた先生です。



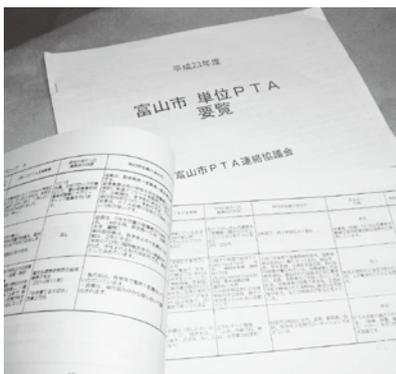
講演会が終了後、第二部は各分科会に分かれて討議を開始しました。導入は、自己紹介と講演会の感想をお願いしその後、今回のテーマ「学校とPTAの関係はどうあるべきか。今一度考えてみよう」を基本に①校長先生との信頼を深めるために、どのような事に心がけていますか? ②先生方との情報の共有化をするために、どのような取り組みをしていますか? ③ブロック内の地域での活動について④学校や生徒に対する不満を地域や一般の保護者から吸い上げ学校と連携してPTAはどのように対応していますか? について共通討議テーマについて討議しその後自由討議としました。講演会の感想はためになった、よかったとの感想が大半でした。次回平成24年の2月25日(土)は「PTA会長はどうあるべきか。今一度

考えてみよう」をテーマに、次年度の会長候補者も共に学びの場になればとの思いで企画されました。新旧両方の会長に是非参加して頂きますよう、C i C ビル3階で実施されます。きつと、新しい発見と学び、多くの出会いが、待っていると思います。参加をお持ちしています。

単位PTA担当委員会

今年度単位PTA担当委員会では、小中学校合わせて100近くある全ての各単Pの総会資料を基に「富山市単位PTA要覧」をまとめて1学期に配布したの続き、各単Pの会長さんを中心にPTA活動に関するアンケートにお答えいただいて、「富山市単位PTA要覧パート2」の作成を2学期に行いました。

残念ながら一般会員の皆さま全てにご覧いただく形のものでなかったのですが、存じない方も多いかも知れませんが、なかなか知ることのできなかつたほかの単Pの活動を知っていただき、少しでもそれぞれの単Pの活動がより充実することにつながっていくことを願って作成しました。



行事や講演会の講師の決定の参考になったという意見が聞けたことが、本当に嬉しかったです。今年度初めて立ちあがった委員会なので、実施予定の事業がとりあえずできてよかったとほっとしているところですが、今後の課題はこのデータをどのように単Pの方で活用していただくかだと思います。その具体的な方法も含めて提案できるような考えていきたいです。



研修交流委員会

去る、12月4日(日)、八尾コミュニティセンターにおきましてPTA会員・保護者対象研修会「中村文昭氏講演会」が開催されました。多くの会員・保護者の方々にご参加いただき誠にありがとうございました。

当日は中村氏ご自身の人生観をベースに、「人間力」の大切さ、「人に喜ばれる」ということの必要性、親として、大人として、

人間としての大切なものを改めて感じさせていただきました。120分という時間がとても短く感じられたのではないのでしょうか。参加者の方々においては、今回の講演で得たものを地域、家庭、PTA、会社などで活用していただければ、人間関係や親子関係もより一層よくなっていくと考えます。

最後になりましたが、今回ご参加いただいた多くの会員の皆様に心より感謝いたします。本当にありがとうございました。



良書をすすめる会



良書をすすめる会では毎月(1、2回)の定例会を開催し、親子で読む読書推進の活動をしています。子どもの目線に立つて親子で楽しく読める本を選んで、リーフレット等を通じて紹介することを活動の中心にしています。今学期、富山市内の全小中学生に学校を通して配布しましたリーフレット「こんな本みつけたよ」の発行も、平成9年度から続いています。本が好き、本の楽しみを子どもに伝えたいと思う方はぜひご参加ください。委員は学校を通じて募集しておりますが、不明な点は市P連事務局までお問合せください。



富山市教育委員会と富山市PTA連絡協議会との懇談会 10月17日(月)

10月17日(月)午後7時から、CiCビル3階学習室において、富山市教育委員会と富山市PTA連絡協議会役員との懇談会が開催されました。

まず「学力の向上について」「食育について(健康面も含んで)」「安全・安心な教育環境について(不審者対応的な面も含めて)」の分科会に分かれ、各テーマについて教育委員会から説明の後で質疑応答を行いました。その後の全体会では、司会者の市P連役員が各分科会の内容をまとめて発表しました。



市議会議員と市P連との懇談会 9月27日(火)



市議会議員7名のご参加をいただき懇談会を開催しました。議員の皆様から温かい激励の言葉をたくさんいただきました。



第68回 東海北陸ブロックPTA研究大会 富山県大会 in ANKU



見直そう 親子のふれあい ~ いいがに話さんまいけ ANKUで ~

2012(平成24)年10月12日(金)~13日(土)

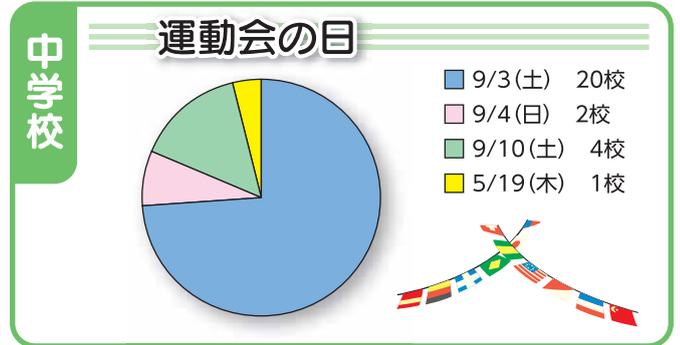
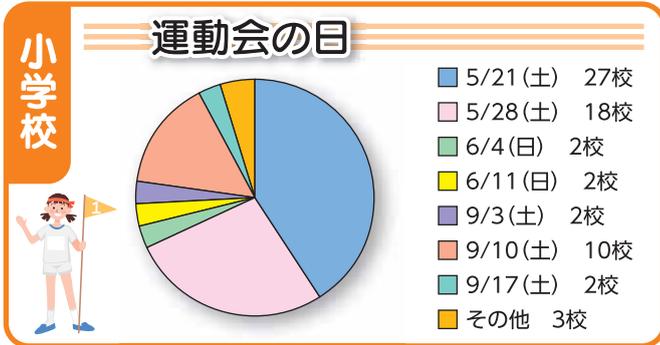
朝日町(A)・入善町(N)・黒部市(K)・魚津市(U)の各市町にわたって開催されます

県内PTA会員の皆様のご協力とご参加をお願いいたします。

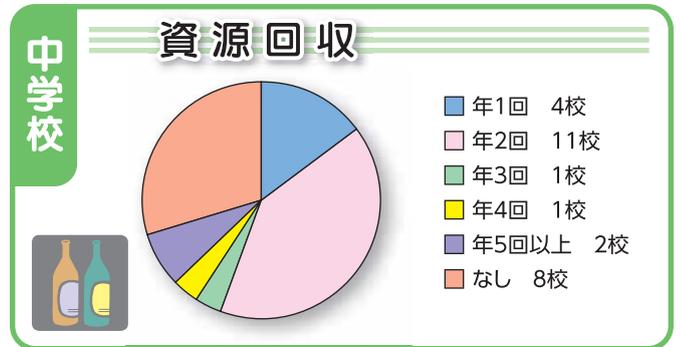
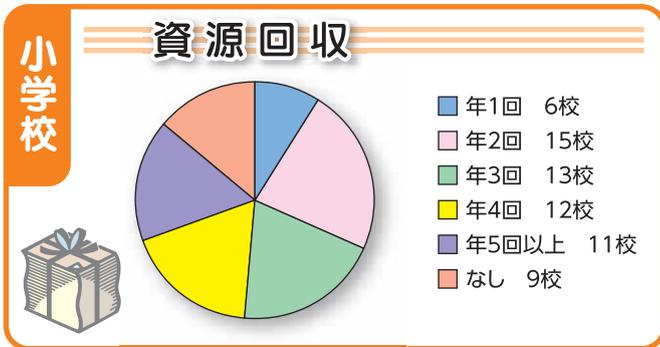
単位PTAアンケート

〔富山市単位PTA要覧〕〔富山市単位PTA要覧パート2〕より

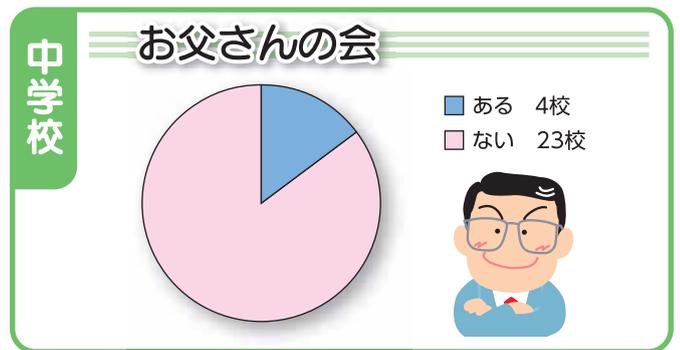
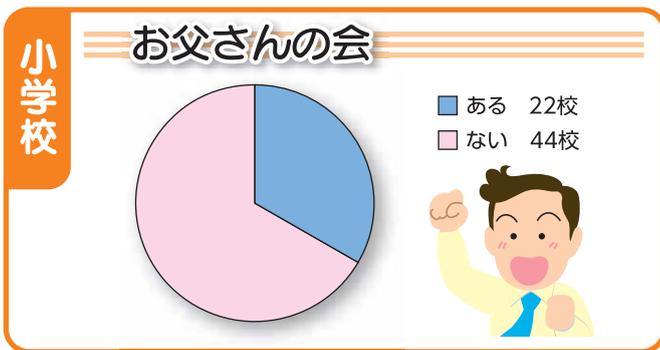
単位PTA担当委員会は今年度新設の委員会で、主に単位PTAの活動をデータベース化する活動をしています。1学期には『富山市単位PTA要覧』を発行し「どんな委員会があるか」「主な主催事業」「運動会の実施日」などについてまとめました。さらに2学期には『富山市単位PTAパート2』を発行し「一押し主催事業」「執行部役員の方針」などについてまとめました。今回その中からいくつかを紹介いたします。皆さんのPTAは多数派ですか？少数派ですか？これらの要覧の目的は、各単位PTAの活動の充実です。他の学校の良いところも取り入れて、今後のPTA活動に生かしてください。



小学校は5月の第3週と第4週の土曜日の実施が全体の3分の2を占める。比較の資料は無いが、春先の実施校はかなり増えてきていると思われる。中学校は9月の第1週の土日の実施が4分の3を占める。



小学校は年3回以上の学校が半数以上を占め、中には毎月1回実施しているところがあったり、通常の資源回収だけでなく空き缶回収やペットボトルのキャップ回収など、やり方も幅広い。中学校は資源回収にPTAだけでなく生徒が参加しているところも多いが、実施していないところも4分の1ある。生徒会主体の活動が別にある事も考えられる。ブロック単位で、地区割りあるいは合同で実施しているところもあるが、全体的に回収量が減少傾向にあるところが多いと思われるので、資源回収の継続には効率的かつ増量に向けた検討が必要と思われる。



お父さんの会は小学校の3分の1の学校で存在する。その活動内容は、主体的にキャンプやバスハイクやバザーでの出店などの事業を実施しているところもあれば、運動会のテントはりや駐車場整理などの学校行事の補助活動を行うなどさまざまである。PTA活動とは別の存在意義を認めるところは多い。ただ実際の活動内容がないところもあり、継続の難しさを感じさせる。

◆編集後記
皆様のおかげで広報「Ren」86号を発行できました。何かひとつでも皆様の活動のヒントになれば幸いです。私たち保護者として経験していかないこともたくさんありました。子どもと共に考える子育てを進めていきましょう。

- 平成23年度広報委員会
担当副会長 庄司 昌弘 (呉羽小)
委員長 熊本 伸一 (城山中)
副委員長 門島 衛 (四方小)
副委員長 吉川 満博 (中央小)
副委員長 吉田 雅美 (三郷小)
副委員長 網永 孝治 (西部中)
委員 大浦 祐二 (堀川小)
委員 水口 靖裕 (西田地方小)
委員 齊藤 行男 (附属小)
委員 永井 勝信 (小見小)
委員 高島 恵 (大久保小)
委員 西垣 美恵 (呉羽小)
委員 高橋 徹 (寒江小)
委員 長谷川 裕子 (榎尾小)
委員 駒見 潤 (広田小)
委員 寺岡 栄一 (岩瀬中)
委員 桜井 優太 (東部小)
委員 加藤 雅也 (音川小)
委員 盛本 裕美 (月岡小)
委員 上田 稔 (水橋東部小)
委員 成田 聡 (藤ノ木小)
委員 上杉 浩二 (八幡小)
委員 高村 純代 (奥田中)
委員 高木 明 (大田小)
委員 鈴木 富勝 (宮野小)
委員 嶋田 純代 (宮野小)